

第3回 再生医療とリハビリテーション研究会 - ロボットテクノロジーを活用した産学医工連携 -

医工連携に関心のある研究者,ものづくり企業の皆様の積極的なご参加をお待ちしております!

日時: 2016年12月10日(土) 10時~17時30分(引き続き,懇親会)

会場: 東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール・コラボレーションルーム

プログラム: (<http://saiseireha.com>)

10:00 開会 第3回研究会 実行委員長 武田行生(東京工業大学)

10:05 セッション1: ロボット工学への期待(座長: 武田行生)

リハ専門家から見たリハロボットのベンチマーク

- ロボットのできること、人のできること-

介護予防にロボットが役立つために何が必要か

(お出かけ型介護予防研究からの示唆)

脳神経外科医がリハビリロボットへ期待すること

大畑光司(京都大学)

西條美紀(東京工業大学)

氏家 弘(東京労災病院)

11:35 セッション2: ロボット工学の専門の立場から見た現状と課題(座長: 田中英一郎)

リハビリテーションおよび日常動作支援ロボット

木口量夫(九州大学)

12:05~13:00 昼休み

13:00 セッション3: 大学発実用化例・海外動向の紹介(座長: 田中英一郎)

マッスルスーツの展開

大学発ベンチャーからNASAへ~重力制御装置Graviteと歩行補助装置RE-Gaitの実用化~

小林 宏(株式会社イノフィス)

河原裕美(株式会社 スペース・

バイオ・ラボラトリーズ)

鈴木康一(株式会社s-muscle)

細径人工筋が挑む, 軽く柔らかい身体サポータ

マルチモーダル福祉ロボットシステムの導入に向けて

~車輪移動型の支援ロボットシステムの開発~

Jorge Solis Alfaro(Karlstad Univ.)

14:00 特別講演(座長: 栗栖薫)

脳梗塞と脊髄損傷の再生医療-医師主導治験による実用化-

本望 修(札幌医科大学)

15:00~15:15 休憩

15:15 セッション4: ロボット工学の技術シーズ紹介(座長: 弓削類, 紀ノ岡正博)

【第1部: 口頭発表(15:15~16:45)】

身体の気づきを高める知覚支援RTと臨床効果

低圧駆動人工筋を利用した運動アシスト

上腿・下腿分離形片側装着歩行支援装置の開発

血栓予防を視野に入れたモーション・ソックス

力覚可視化技術を実装したリハビリ支援システム

倒れぬ杖の先

パッシブロボティクスに基づく福祉ロボット

インクルーシブデザインによるライフサポート機器の開発

多種促進刺激付き前腕回内・回外訓練装置の片麻痺陳旧例に対する長期訓練効果

岩田浩康(早稲田大学)

栗田雄一(広島大学)

松浦大輔(東京工業大学)

塚越秀行(東京工業大学)

辻 俊明(埼玉大学)

武居直行(首都大学東京)

平田泰久(東北大学)

田中英一郎(早稲田大学)

余永(鹿児島大学)

【第2部: ポスター&実演(16:50~17:30)】

別室(コラボレーションルーム)にて, インタラクティブセッションを行う。

17:30 閉会 第3回研究会 実行副委員長 田中英一郎(早稲田大学)

17:45 懇親会(大学生協第一食堂)

講演会参加費: 会 員4,000円

非会員7,000円

学 生2,000円

懇親会参加費: 4,000円

実行委員長 武田行生(東京工業大学)

実行副委員長 田中英一郎(早稲田大学)

連絡先: saiseireha3@gmail.com

